



スタイロフォームの減容化

旭化成住工株式会社 滋賀工場 (東近江市)

HEBEL HAUS(ヘーベルハウス)の天井断熱材として使用している、発泡プラスチック系的一种であるスタイロフォームは、お客様のオーダーごとに原版からカットし、その端材は年間約4tを廃プラスチックとして産廃処理していました。

そこで、廃プラスチックの排出削減を目的として、スタイロフォームの端材を加熱・成形し、インゴット(塊)化する減容化設備を導入しました。

これにより従来は産廃処理していた端材を、設備導入後は有価物として再資源化することが出来ました。



インゴット(塊)化した端材



減容化設備への端材の投入



旭化成住工株式会社 滋賀工場

住所: 滋賀県東近江市湯屋町1番地

TEL: 0749-29-9007 FAX: 0749-45-3298

HP: <https://www.asahi-kasei.co.jp/jyukou/index.htm/>

設立: 昭和38年12月26日 資本金: 28億2,000万円

業種: HEBEL HAUS(ヘーベルハウス)の柱、梁、制震装置などの鉄骨部材を中心に、断熱部材・屋根パネル・開口パネル等、様々な部材を供給する総合生産会社

HEBEL HAUSは、スマートエネルギーにより、年間一次エネルギー消費量が正味でゼロ以下となる住まいの実現を目指しています。スタイロフォームやネオマフォームを使った加工をしていますが、高断熱化が進む中で断熱材の廃棄物削減をあきらめることなく、引き続き学び・行動・実現に向けて活動を行ってまいります。



第二製造部副部長
片倉 康貴 さん